労働者災害補償保険 特別加入申請書 (一人親方等)

帳票種別 36221						◎裏面の注意事項を読んでから記載してください。※印の欄は記載しないでください。(職員が記載します。)								
① 申請 原	情に係る事業 県 所業 		保険番号 基 幹 番	大	※ 受	付年。	月日 9~	元号 年 合和 1~9年1 1~9	月 	 				
② 特 別	名称 (フリガナ) 名称 (漢字)													
加入団体	代表者の氏名													
	事業又は作	業の種類	į		*	特定業種区分								
③ 特別	」 加入予定者	<u>×</u> .	加入予定者			,		載しきれない場合には、	別紙に記載す	ること				
特	別加	入 予	· 定 者	業務又は作業の	内 容		1	定業務・給付						
フリガナ 氏 名			法第33条第3号に 掲げる者との関係	業務又は作業の具体的内容		除染 作業	従事する 特定業務	業務	5 歴 年					
			1 本人 5 家族従事者				1 粉じん 3 振動工具	戦物に促事した中月 従事した期間の合計						
生年月日	年 月		()			1 有 3 無	5 鉛 7 有機溶剤 9 該当なし	希望する給付基礎日	額					
フリガナ	+ 71	Н	法第33条第3号に	業務又は作業の具体的内容		除染	従事する	業務	5 歴					
氏 名			掲げる者との関係 1 本人			作業	特定業務 1 粉じん	最初に従事した年月	年					
			5 家族従事者			1 有 3 無	3 振動工具 5 鉛	従事した期間の合計	年間					
生年月日	年 月	日				3 ////	7 有機溶剤 9 該当なし	希望する給付基礎日	額					
フリガナ 氏 名			法第33条第3号に 掲げる者との関係 1本人	業務又は作業の具体的内容		除染 作業	従事する 特定業務	業務歴						
氏 名						IF#	1 粉じん	最初に従事した年月	年					
			5 家族従事者			1 有	3 振動工具 5 鉛	従事した期間の合計	年間	?				
生年月日	年 月	目				3 無	7 有機溶剤 9 該当なし	希望する給付基礎日	額					
フリガナ 氏 名			法第33条第3号に 掲げる者との関係 1本人	業務又は作業の具体的内容		除染 作業	従事する 特定業務	業務	歷					
							1 粉じん	最初に従事した年月	年					
			5 家族従事者			1 有	3 振動工具 5 鉛	従事した期間の合計	年間	ŕ				
生年月日	年 月	目				3 無	7 有機溶剤 9 該当なし	希望する給付基礎日	額					
フリガナ 氏 名			法第33条第3号に 掲げる者との関係	業務又は作業の具体的内容		除染 作業	従事する 特定業務	業務	5 歴					
1			1 本人			IP A	1 粉じん	最初に従事した年月	年					
			5 家族従事者			1 有	3 振動工具 5 鉛	従事した期間の合計	年間	ク				
生年月日	年 月	日				3 無	7 有機溶剤 9 該当なし	希望する給付基礎日	額					
④ 添作	ナナる書類の)名称	団体の目的、組織、運営等を明らかにする書類											
			業務災害の防止に	関する措置の内容を記載した書類										
⑤ 特別	加入を希望	皇する日	(申請日の翌日か	ら起算して30日以内)				年 月	日					
上記のと	おり特別	加入の	申請をします。	名 称										
	年	1	<u> </u>	団体の 主たる事務所	工			電話 () -	_				

様式第34号の10 (裏面)

〔標準字体記載に当たっての注意事項〕

- 1 □□□で表示された枠(以下、記載枠という。)に記載する数字は、光学式文字読取装置(OCR)で直接読取りを行うので、汚したり、穴を開けたり、必要以上に強く折り曲げたり、のり付けしたりしないでください。
- 2 記載枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、以下に記載された「標準字体」に倣って、枠からはみ出さないように大きめのアラビア数字で明瞭に記載してください。

標準字体 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

〔項目記載に当たっての注意事項〕

- 1 ②の「事業又は作業の種類」の欄には、労働保険の保険料の徴収等に関する法律施行規則(昭和47年労働 省令第8号)別表第5の第2種特別加入保険料率表の事業又は作業の種類を記載すること。
- 2 「法第33条第3号に掲げる者との関係」の欄には、特別加入予定者が一人親方(労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号。以下「法」という。)第33条第3号に掲げる者をいう。)に該当する場合は「1」を〇で囲み、「1」に該当する者が行う事業に従事する者の場合は「5」を〇で囲み、()にその構成員との続柄を記載すること。

特定作業従事者(法第33条第5号に掲げる者をいう。)に該当する場合は当該欄への記載は不要である。

- 3 「業務又は作業の具体的内容」の欄には、特別加入者として行う業務又は作業の具体的内容を記載すること。
- 4 「除染作業」の欄には、特別加入者として行う業務に除染作業が含まれる場合は「1」を〇で囲み、除染作業が含まれない場合は「3」を〇で囲むこと。
- 5 特別加入者として行う業務が「従事する特定業務」の欄に掲げる特定業務(労働者災害補償保険法施行規則(昭和30年労働省令第22号。以下「規則」という。)第46条の19第3項各号に掲げる業務をいう。)のいずれかに該当する場合には、その該当する特定業務の番号を〇で囲むこと。(該当する特定業務が複数の場合には、該当する番号全てを〇で囲むこと。)なお、いずれにも該当しない場合には、「9」を〇で囲むこと。
- 6 「業務歴」の欄には、特別加入者として行う業務が「従事する特定業務」の欄に掲げる特定業務のいずれ かに該当する場合であって、当該特別加入予定者が過去において当該該当する特定業務に従事したことがあ るときに、当該該当する特定業務に最初に従事した年月及び従事した期間の合計を記載すること。(該当す る特定業務が複数の場合には、主たるものを当該欄に記載すること。その他該当する特定業務については、 余白に最初に従事した年月及び従事した期間の合計を記載すること。)
- 7 特別加入予定者の団体が、船員法(昭和22年法律第100号)第1条に規定する船員が行う事業(規則第46条の17第7号に掲げる事業をいう。)に従事する者、家内労働者又はその補助者(規則第46条の18第3号に掲げる作業に従事する者をいう。)の団体であるときには、④の「業務災害の防止に関する措置の内容を記載した書類」欄の記載及びその書類の添付は不要である。
- 8 記載事項のない欄には斜線を引くこと。

社会保険	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏	名	電話番号
労務士 載欄				() —